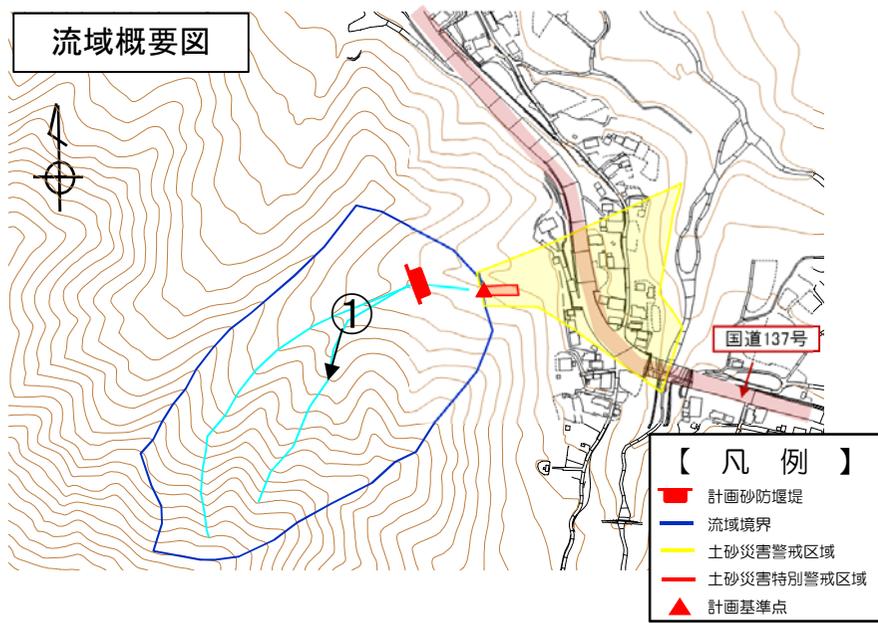


1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	<b>事業箇所</b>	笛吹市御坂町藤野木	<b>地区名</b>	大蔵沢川 (オオクラサワガワ)	<b>事業主体</b>	山梨県																																						
<b>(1) 事業の概要</b> ①課題・背景 本渓流は流域面積0.09km <sup>2</sup> の土石流危険渓流である。流域内は崩壊や溪岸浸食が進行し、溪床には不安定土砂、転石が堆積しているとともに、溪岸沿いには立木が密集している。今後の台風や集中豪雨時には、土砂流出、流木による土石流発生の危険が高まっている。保全対象は、人家8戸のほか国道、市道等の公共施設も存在し、土石流が発生すると甚大な災害を引き起こすことが予測されるため、土石流を抑止する砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。  ②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 0% < 70%※ ・重要公共施設の有無 有 (国道) (保全対象=人家8戸、国道178m、市道152m)  □副次目標 ー □副次効果 ー				<b>(3) 事業の妥当性評価</b>				妥当	妥当でない																																				
				③公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当				○		□																																			
④事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当				○		□																																							
⑤経済妥当性				○		□																																							
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>360 百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R11</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>234 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">254 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>234 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">54 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">18 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">8 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>その他※</td> <td colspan="2">174 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">B/C</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1.1</td> </tr> </table>		総事業費	360 百万円	工期	R4~R11	基準年	R3	経済効率性	費用	234 百万円	便益	254 百万円		建設費	234 百万円	一般資産被害抑止	54 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	18 百万円			百万円	公共土木施設等被害	8 百万円			百万円	その他※	174 百万円		B/C			1.1				
総事業費	360 百万円	工期	R4~R11	基準年	R3																																								
経済効率性	費用	234 百万円	便益	254 百万円																																									
	建設費	234 百万円	一般資産被害抑止	54 百万円																																									
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	18 百万円																																									
		百万円	公共土木施設等被害	8 百万円																																									
		百万円	その他※	174 百万円																																									
B/C			1.1																																										
				※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている																																									
⑥事業実施・規模の妥当性				○		□																																							
				流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である																																									
<b>(2) 整備内容</b> ①整備内容 砂防堰堤 1基 H=8.5m L=51.0m  ②着手年度 令和4年度                      ③完成見込年度 令和11年度  ④総事業費 約360百万円 (国費180百万円(5/10)県費180百万円(5/10))  ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和4年度 詳細設計・用地測量 20百万円 令和5年度 用地取得・立木補償 20百万円 令和6年度 砂防堰堤工事 50百万円 令和7年度 砂防堰堤工事 50百万円 令和8年度 砂防堰堤工事 50百万円 令和9年度 砂防堰堤工事 50百万円 令和10年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和11年度 砂防堰堤工事 60百万円				⑦整備手法の有効性 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした				○	□																																				
				⑧環境負荷等への配慮 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮				○	□																																				
				⑨事業計画の熟度 地元の要望に基づいている				○	□																																				
				<b>総合評価</b>																																									
				<b>[貢献度ランク: a]</b>																																									
※記載内容は見込みであり、確定したものではありません。  ⑩既整備内容・期間・事業費 未整備				<b>(4) 事業位置図等</b> 位置図 																																									

## 2. 添付資料シート

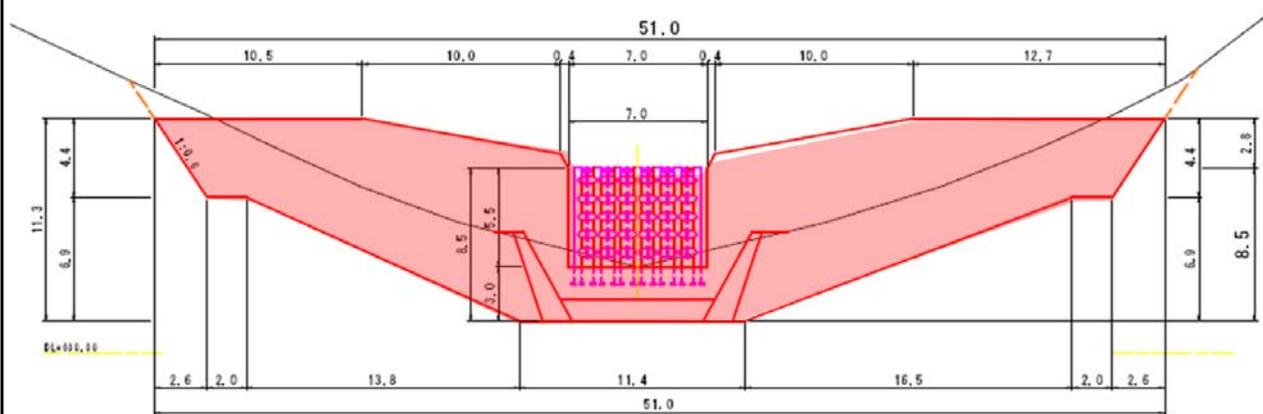
流域概要図



全景写真



堰堤正面図



荒廃状況



保全対象: 国道137号

